

但馬信用金庫の取り組みについて

～公的な補助金を活用した支援～



但馬信用金庫

Welcome to TAJIMA SHINKIN BANK

地域の皆さまに愛され、信頼される金融機関 — 街のふれあいステーション

営業エリアの概要 (データはすべて2015年3月末時点)



預金残高、貸出金残高、店舗数、役職員数
 4,246億円、1,621億円、29店舗、374名

兵庫県北部
 但馬(たじま)地区
 (豊岡市・養父市・朝来市
 香美町・新温泉町)
 人口 169,694人
 店舗数 24店舗



京都府北部
 (京丹後市・福知山市)
 人口 133,246人
 店舗数 2店舗

姫路市
 人口 532,971人
 店舗数 3店舗



豊富な地域資源



公的な補助金の概要



名称：地域経済循環創造事業交付金（総務省所管）

概要：都道府県及び市町村が、民間事業者や地域金融機関等と連携して実施
「あと一歩」で実現できるような地域活性化に資する事業※が対象

（※地元雇用や地元原材料を活用し、地元で資金を還元した上で、営業活動によるキャッシュフローの黒字は見込めるものの、初期の設備投資資金を地域金融機関から全額引き出すのは難しい事業）

交付金は事業の初期投資額に充当（上限5,000万円）

ポイント：当該事業では地元※※の資源を利用する（製品の原材料のみならず、燃料や容器など）

当該事業では地元※※の人材を雇用する

（※※当金庫では「地元」の範囲をどう考えるかにより、市町と連携するか・府県と連携するかを考えています）

当該事業に対し、地域金融機関が融資を行なう（経営者保証は徴求しない）

4つの指標：投資効果・地元雇用創出効果・地元産業直接効果・課税対象利益等創出効果

2014年度の支援実績



- (1) 地元間伐材を原料とした木質ペレットを熱源とするトマトのハウス栽培事業 (交付金額13百万円)
- (2) 豊岡産木を使用した“木ブロック”製造事業 (交付金額9百万円)
- (3) 豊岡の隠れた魅力食材の高付加価値化事業 (交付金額12.25百万円)
- (4) スイーツを通じた但馬各地の地域資源・地場産品のブランド力強化事業 (交付金額12百万円、兵庫県)
- (5) 養父市の間伐材を利用した加温設備による高糖度トマトの通年での本格生産と6次産業化ビジネスの展開 (交付金額50百万円)
- (6) 市内産木質ペレットで生産した完熟イチゴによるスイーツ等の製造販売 (交付金額17百万円)
- (7) コウノトリ育む米粉スイーツ販売の全国展開 (交付金額25百万円)
- (8) 養父市の良質な水資源を使用した完全人工光型植物工場での野菜の生産 (交付金額50百万円)
- (9) 加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業 (交付金額27百万円)
- (10) 京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業 (交付金額11百万円)

当金庫の推進体制



営業店と本部が連携し、本補助金の利用を顧客と行政に積極的に提案
営業店は融資増強に繋がるため、特別な業績評価を行なわなくても積極的に推進

(推進担当者の見解)

地域経済循環創造事業交付金を利用する事業は、

①どの業種にもフィットする。当金庫では特に6次産業化に関心がある顧客に提案

②創業案件よりも第二創業案件に適しているのではないか。

- ・地域資源を利用 ⇒ 一般の原材料よりも、「割高」となることが多い
- ⇒ 仕入れにあたり、地域内での一定の信用・実績が必要
- ・初期投資への補助 ⇒ 交付金の上限が5,000万円と、まとまった規模の初期投資を行なう際に有利

補足：行政との関係づくり



大切にしていること： 行政が構築した枠組み・事業に参加するだけでなく、行政と共同で事業の企画・運営を行う
(参加者ではなく、パートナー)

例えば、本店所在地の豊岡市とは、

特別天然記念物コウノトリの野生復帰活動に力を入れていた豊岡市に対し、コウノトリ野生復帰が市にもたらす経済効果を算出するために市役所・慶應義塾大学経済学部と共同で調査を実施

「豊岡市中心市街地活性化基本計画」の策定委員会の委員長を当金庫職員が1年にわたり委嘱
⇒ 本計画に基づき、第3セクターが取り組んだ靴に特化した拠点施設は順調に稼動

豊岡市と「環境経済事業の推進に関する協定」を金融機関の中で初めて締結し、その上で、市と市内全金融機関・商工会・商工会議所の連携体制を構築
⇒ 市から認定を受けた環境経済型事業者の数や市内工業製品出荷額に占める割合は増加傾向にある